

(株)小樽水族館公社および(株)北海道マリnparkにおけるBSCによる戦略の比較

プロジェクト代表者: 上山 晋平

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、学生の実践的な問題解決能力を養成するための教育プロジェクトである。財務会計論を専攻する二村ゼミナールと管理会計論を専攻する上山ゼミナールの学生(23名)が、財務省北海道財務局の協力を得て実施した。小樽市の第三セクターである(株)小樽水族館公社と登別市の第二セクターである(株)北海道マリnparkの戦略について、ヒアリングを行い、会計ツールの1つであるバランス・スコアカード(Balanced Scorecard, 以下BSC とする)を作成、比較し、課題および解決策を検討した。

2. プロジェクトの進捗状況について (～H28.10)

- 本プロジェクトは、以下のスケジュールで実施した。
- H28.05.01 学生が主体となり、プロジェクト概要を決定
 - H28.06.13 財務省北海道財務局との打合せ、方針を決定
 - H28.07.21 市立小樽美術館にて、グループワークを実施
 - H28.07.22～ グループごとに(株)小樽水族館公社および(株)北海道マリnparkのBSC
 および質問票を作成
 - H28.08.28 (株)小樽水族館公社および(株)北海道マリnparkに質問票を提出
 - H28.09.06 (株)小樽水族館公社を訪問、上記質問票にもとづきヒアリングを実施
 - H28.09.07 (株)北海道マリnparkを訪問、上記質問票にもとづきヒアリングを実施
 - H28.09.29 大学図書館にて、グループワークを実施
 - H28.10.06 大学図書館にて、公開で報告会を実施

3. 今後の取組予定について

報告書を作成し、(株)小樽水族館公社、(株)北海道マリnparkおよび財務省北海道財務局に提出